

カナダ Pearson College UWC 寺田 朋笑さん

留学期間 R5.8～R7.5 (2年間)

1 留学の成果

海と森に囲まれ、一番近くの村まで徒歩1時間弱といった孤立したカレッジで世界中から集まる仲間と英語を使った生活。新たな地で、新たな仲間と新たな経験と挑戦をした、濃厚な一年が終わりました。

渡航当初は、英語を使った生活に慣れるために必死で、学校の地図や友達の名前を覚えることや、聞いたことがない活動やイベントに参加することに我武者羅になっていました。このように、一学期は、常に受け身で生活を送っていました。しかし、冬休み明けから1学年終了までの2学期には、新しい挑戦、自分の興味のあることを追求することができたように思います。2学期に入ってからは、学校の食堂の問題や料理に関してキッチンスタッフと会議をする委員会、food committee の代表になりました。また、2月中旬に行われた Regional day と呼ばれるアジアの文化を紹介するイベントでは、日本のダンスパフォーマンスのリーダーになりました。そして、3月にある Project week という週に、フードロスに関するプロジェクトを提案し、企画したことが、この一年の大きな挑戦として特に記憶に残っています。このプロジェクトでは、訪問する農家やスーパー、フードバンクにメールを送り、訪問の予約を取ることを通して、責任感やタイムマネジメント力を伸ばすことができました。また、チーム内での自炊当番決めや毎活動後の反省会を通して、皆の意見をまとめる難しさを実感しました。チームをまとめる立場になるには、さらなる英語力、物事を客観視できる力、自分の意見に執着しないことが必要であると再確認できました。

学業面では、月日が流れるごとに英語力、特にリスニング力が伸び、授業が楽しくなっていました。2学期に入って、色々なイベントの企画委員会などに参加するようになり、勉強との両立に苦戦したこともありましたが、集中力を高めて、量より質を重視した学習に取り組めたと思います。

この一年間の留学を通して、私は観察力を伸ばすことができました。英語が聞き取れないことや話せないことに苦戦していたため、無意識のうちに相手をよく見て、言語を介さなくても自分の体を動かしていたのだと思います。この力は、共同生活をするときはもちろん、あるプロジェクトの運営をするときに役に立ちました。相手をよく観察して、真似をしてみて、実際にどのようなサポートがあるとスムーズに物事が進むか考察する。この留学で、コミュニケーションにおける言語の潜在的な偉大さを学んだだけでなく、言語を超えて、相手のことを思い、周りをよく見て行動するといった力の大切さに気付くことが

できました。

今年度には、Pearson College の 50 周年を祝う大きなイベントが行われます。私はそのイベントで、タイムカプセル作りのリーダーになっているので、それをチームのメンバーと協力して成功させたいです。そして、エッセイや大学のレポートなどのアカデミックな面でも全力を尽くしていきます。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ Self-taught Japanese (Standard level)
- ・ English B (Higher level)
- ・ Economics (Higher level)
- ・ Marine Science (Standard level)
- ・ Physics (Higher level)
- ・ Mathematics Analysis and Approaches (Higher level)

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ KULE (ケニアでボランティア活動を行うためのファンドレイジング)
- ・ Coasts bio-diversity (海や海岸の動植物を学ぶ活動)
- ・ Food committee の代表 (キッチンスタッフと食堂や料理の問題について会議する委員会の代表)
- ・ Project week (少人数のグループで、校外で生活しながらプロジェクトを達成する週) の企画、運営

3 今後の活動予定

この夏から、再びカナダでの生活が始まります。次は2年生として、去年以上に責任感や包容力が求められると思うので、しっかりその力をつけていきたいです。また、今年には、Pearson College が50周年で、それを祝うイベントが開催され、その企画運営に携わっているので、頑張りたいです。学業の面では、クラス内で、即興で答えることが1年時は苦手だったので、2年時から、積極的にクラスの会話に参加できていけるよう心掛けたいです。学業が大変になるとは思いますが、あと1年しか同じ仲間と生活できないので、友達と過ごす何気ない時間を大切にしていきたいです。

昨年、野生のシャチを見られると期待していったのですが、そのチャンスに出会えなかったのが、今年こそは、野生のシャチ、近くで見ます！

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

カナダでは、友達想いで、社会問題などに意識が高い素敵な仲間に出会って、毎日かけがえのない生活を送ることができています。実際に海外で生活することで、今まで動画や写真からは想像できなかった、日本での生活との違いに気づき、新たな習慣を学ぶことが多々ありました。留学前に立てた「かえで」の目標（「か」らだを使って学ぶ、人との「え」んを大切にする、日々の小さな「デ」イスカバリーを大切にする）も実践することができています。このように、多くの新しいことや興味のあることに、何不自由なくつき進める環境を作ってください、ありがとうございます。本当に、心から感謝しております。これからの1年は、より多くの人と付き合い、一つ一つのイベントに全力で参加していきたいと考えておりますので、あと1年、応援よろしく願いいたします。

5 記録写真



寮母の家で行われたクレープパーティーの様子。この寮では、国籍性別関係なく、42名の生徒で生活している。



天気が良いからという理由で野外で行われた英語の授業。自然の力の偉大さを詠んだ詩を読んだ。



プロジェクトウィークで、農家を訪れ、豆の収穫をした後の様子。フードロスについて学んだ。